



適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使 用 方 法	ベンチオピラド を含む農業の 総使用回数	
つるな	菌核病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	3回 以内	
はなやさい類	菌核病 黒すす病 根朽病							
はくさい	黒斑病 白斑病 尻腐病 菌核病							
レタス 非結球レタス	灰色かび病 菌核病 すそ枯病 白絹病							
エンダイブ	すそ枯病							
しゅんぎく	葉枯病							
キャベツ	菌核病 株腐病 根朽病 灰色かび病							
きゅうり	灰色かび病 菌核病 うどんこ病							
メロン	つる枯病 うどんこ病							2000~4000倍
すいか	菌核病 うどんこ病 つる枯病							2000倍
かぼちゃ	うどんこ病 つる枯病							
ズッキーニ にがうり	うどんこ病							
トマト	すすかび病 灰色かび病 菌核病 葉かび病	2000~4000倍						
	うどんこ病							
ミニトマト	すすかび病 灰色かび病 菌核病 斑点病 葉かび病	2000倍						
ししとう	灰色かび病 うどんこ病 黒枯病 斑点病							
ピーマン	灰色かび病 黒枯病 斑点病							
	白絹病		1ℓ/株			株元 灌注		
	うどんこ病	2000~4000倍	100~300ℓ/10a			散布		





適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用流量	使用時期	本剤の 使用 回数	使 用 方 法	ベンチオピラド を含む農業の 総使用回数
なす	灰色かび病 菌核病 褐色斑点病 すすかび病 うどんこ病 褐色円星病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回 以内		3回 以内
	オクラ						
いちご	灰色かび病 うどんこ病 輪斑病 黒色根腐病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回 以内	散布	2回 以内
未成熟とうもろこし	紋枯病						
にんじん	白絹病 菌核病 斑点病 うどんこ病 黒葉枯病	1000~2000倍	0.5~1ℓ/m ²	収穫前日まで	3回 以内	株元 灌注	2回 以内
にら	白斑葉枯病 さび病 褐色葉枯病 白絹病 黒腐菌核病						
にら(花莖)	白斑葉枯病 さび病 白絹病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	2回 以内
にんにく	さび病 葉枯病 黒腐菌核病						
ねぎ	白絹病 黒腐菌核病	1000~2000倍	1ℓ/m ²	生育期 但し、 収穫14日前まで	2回 以内	株元 灌注	4回以内 (株元灌注は 2回以内、散 布及び無人 航空機散布 は合計2回 以内)
	たまねぎ	白絹病 葉枯病 さび病 黒斑病 小菌核腐敗病 小菌核病					
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病 黒腐菌核病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	4回 以内	散布	4回 以内
アスパラガス	褐斑病 斑点病 茎枯病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	3回 以内
セルリー	斑点病 菌核病						
とうき	苗立枯病	500~1000倍	セル成型育苗トレイ1 箱またはペーパーポッ ト1冊(30×60cm・使用 土壌約1.5~4.0ℓ)当り 0.2ℓ	育苗期	5回 以内	灌注	5回 以内
しそ	灰色かび病 斑点病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	2回 以内	散布	2回 以内
しそ(花穂)				収穫前日まで			
パセリ	うどんこ病			収穫3日前まで			





適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ベンチオピラド を含む農薬の 総使用回数
しょうが	白星病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	3回 以内
らっかせい	白絹病 灰色かび病 菌核病 さび病 褐斑病						
いんげんまめ さやいんげん	角斑病						
豆類 (種実、ただし、 だいず、らっかせい、いんげん まめを除く)	灰色かび病 菌核病 さび病						
豆類 (未成熟、ただし、 えだまめ、さやい んげんを除く)							
だいず えだまめ	うどんこ病						
小粒核果類 もも ネクタリン	灰星病 黒星病		200~700ℓ/10a				
おうとう	灰星病 幼果菌核病						
なし	黒星病 赤星病 うどんこ病						
りんご	黒星病 赤星病 うどんこ病 斑点落葉病 モニリア病 黒点病 褐斑病 すす斑病 すす点病						
かき	落葉病						
かんきつ	灰色かび病 そうか病	100~300ℓ/10a	発病初期				
ぶどう	灰色かび病 晩腐病 黒とう病 うどんこ病 褐斑病 さび病						
チューリップ	褐色斑点病 灰色かび病 うどんこ病						
きく	白さび病 灰色かび病 うどんこ病 黒さび病						





適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンチオピラドを含む農薬の総使用回数		
ゆり	葉枯病 灰色かび病 うどんこ病	2000倍	100~300ℓ/10a	発病初期	3回以内	散布	3回以内		
りんどう	灰色かび病 うどんこ病 花腐菌核病 褐斑病 黒斑病								
花き類・観葉植物 (きく、ゆり、チューリップ、りんどうを除く)	灰色かび病 うどんこ病								
食用ぎく	灰色かび病 白さび病 黒さび病 うどんこ病			収穫7日前まで				2回以内	2回以内
食用さくら(葉)	うどんこ病 せん孔褐斑病			200~700ℓ/10a				3回以内	3回以内
てんさい	根腐病	200~400倍	ペーパーポット1冊 当り1ℓ(3ℓ/m ²)	移植前	1回	苗床 灌注	4回以内 (苗床灌注は1回以内、 散布は3回以内)		
	葉腐病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布			
小麦	赤さび病	1000倍	60~150ℓ/10a	収穫14日前まで			3回以内	株元 灌注	3回以内
とりかぶと(薬用)	白絹病		1ℓ/m ²						
みしまさいこ	斑点病	2000倍	100~300ℓ/10a	生育期	6回以内 (1年間に3回以内)	散布	6回以内 (1年間に3回以内)		
どくだみ	白絹病		1~3ℓ/m ²	生育期 但し、 収穫14日前まで	2回以内	灌注	2回以内		
たばこ	菌核病		100~180ℓ/10a	収穫10日前まで	3回以内	散布	3回以内		
あじさい	うどんこ病		200~400ℓ/10a	発病前~ 発病初期					

常温煙霧法

作物名	適用場所	適用病害名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンチオピラドを含む農薬の総使用回数
きゅうり	温室、ガラス室、ビニールハウス等の密閉できる場所	うどんこ病	150g/10a	10ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	常温煙霧	3回以内
なす		すすかび病						





効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 使用前によく振ってから使用する。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用する。
- 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理する。
- ぶどうの幼果期（小豆大）以降の散布は、果粉が溶脱するおそれがあるので使用をさける。
- にんにくの種球に塗沫する場合は、処理後、風乾した後に植付けを行う。
- ハウス等で常温煙霧に使用する場合は以下の注意事項を守る。
 - ① 常温煙霧中は室内へ入らない。
 - ② 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧する。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては、病害虫防除所等関係機関の指導を受ける。
 - ③ 作業はできるだけ夕刻行い、作業終了後6時間以上密閉する。できれば翌朝までそのままとし、開放後十分換気してから入室する。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意する。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 常温煙霧中はハウス内へ入らない。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室する。
- 塗沫の際は不浸透性手袋などを着用する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

保 管…密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な所。

